

テーマ No.20

微弱な生体信号をモニタリングしよう

金井・荒川研究室

概要：

近年、ウェアラブルセンサを用いた患者の健康状態のモニタリングが行われています。生体信号は微弱なことから、十分な出力が得られるように信号を増幅することが重要となります。

研修では、歪みセンサー用の増幅回路を電子工作します。このセンサーを用いて、脈拍、血圧などの生体信号を計測し、これを無線通信モジュールと組み合わせて、生体モニタリングを行い、様々な解析を目指します。

